

## 7月新刊のご案内

### 『わたしたちもみんな子どもだった』-戦争が日常だった私たちの体験記-

終戦を知らせる「玉音放送」を聴いた1945年8月15日。  
あの日を境に世界は変わったのか——？



### わたしたちもみんな子どもだった -戦争が日常だった私たちの体験記-

発売元：ハガツサブックス  
発売日：7月21日 定価：本体1500円（+税）  
ISBN：978-4-910034-07-2 四六判並製 296P

#### ▶著者略歴

**和久井 香菜子**（ワクイカナコ）著/文  
編集・ライター。主に医療情報、ジェンダー問題について取材・執筆している。早稲田大学第二文学部の卒業論文で「少女漫画の女性像」を論じたことをきっかけに、少女マンガ研究家としても活動している。視覚障害者による文字起こしサービスを行う合同会社ブラインドライターズ代表

昭和から平成、令和と時代が変わり、太平洋戦争の記憶を語ることができる人は少なくなりました。この本は、和久井香菜子氏がライフワークとして取り組んできた「あなたは玉音放送をどこで聴きましたか？」をオーラル・ヒストリーとして構成したものです。著名人を含む18人の元・子どもたちが、当時の記憶を赤裸々に語っています。

当時の青少年は、戦争や社会をどのように見て、感じていたのか？ 今では忘れ去れた当時の常識や考え方は、どのようなものだったのか？

玉音放送という時間軸の一点で歴史を見つめ直した時、当時も今も変わらぬ人の営みがあることに気付かされます。戦争の時代を生き抜いた元・子どもたちから、コロナ禍を生きる私たちへのメッセージをお届けします。

お話しを聞かせてくれたのは...

- 飛行機乗り憧れ、海軍に入隊した  
SONY 元副社長
- 特攻隊として死んでいたかもしれない  
茶道・裏千家の元家元
- 空襲を横目に潮干狩りをしていた  
元プロテニスプレイヤー
- 戦中も勉強を続けて世界最高齢の記録を作るまで働く  
現役薬剤師
- 終戦後再び戦争に巻き込まれた  
元日本ボクシング連盟会長
- 進駐軍慰問の舞台からハリウッドの夢を掴んだ  
エミー賞受賞ヘアメイクアップアーティスト

etc...

——樺太、東京、大阪、広島、長崎、鹿児島、満州...  
それぞれの場所で迎えた、終戦。

\*著者インタビューや書評など、ぜひ貴メディアでご紹介いただけますと幸いです。  
お問い合わせは以下までお願いいたします。

担当：Hagazussa Books（ハガツサブックス） 千吉良美樹（チギラ・ミキ）

Mobile：03-6313-7795

Email：chigira@hagazussa-b.com